津久見市津波ハザードマップ
四浦二・三区
津波浸水予測図

今回、市内全域（八戸地区除く）の津久見市津波ハザードマップ（津波浸水予測図）を作成しました。

平成２４年８月に国から現時点での最新の科学的知見に基づく、「発生しうる最大クラスの南海トラフ巨大地震」の予測が公表され、想定データのケース１１を基に大分県の有識者会議が大分県津波浸水予測調査を行い、津久見市では今回このような津波浸水域が示されました。

これはあくまでも予測であり、すばやく赤色実線の海抜１０ｍ以上地域の津波一時避難所へ避難して下さい。

平成２５年４月作製

■指定避難所　近くの避難所を確認しましょう

地区名	一時避難所 風水害	一時避難所 地震	一時避難所 津波	海抜(m)	収容避難所	収容人員(人)	TEL
四浦二区 深良津地区 久保泊地区 刀自ヶ浦地区	旧四浦東中学校　2階	付近の空き地	深良津西谷	H= 10	深良津健康センター	75	
	越智小学校　2階		深良津東谷	H= 12			
			深良津養殖場上	H= 13			
			久保泊オガタニ	H= 10			
			久保泊芳ヶ谷	H= 11			
			刀自ヶ浦城山（刀自ヶ浦入口）	H= 11			
			刀自ヶ浦赤崎	H= 11			
			刀自ヶ浦川のぼり	H= 10			
四浦三区 落ノ浦地区 田ノ浦地区 摺木地区	落ノ浦集会所　2階	本教寺	落ノ浦本教寺	H= 12	旧四浦東中学校	530	88-2154
	旧四浦東中学校　2階		落ノ浦新川	H= 14	越智小学校	550	88-2004
	越智小学校　2階		落ノ浦鹿ノ浦	H= 10			
			田ノ浦	H= 10			
			田ノ浦天神	H= 13			
			摺木	H= 11			

わが家の避難場所は、

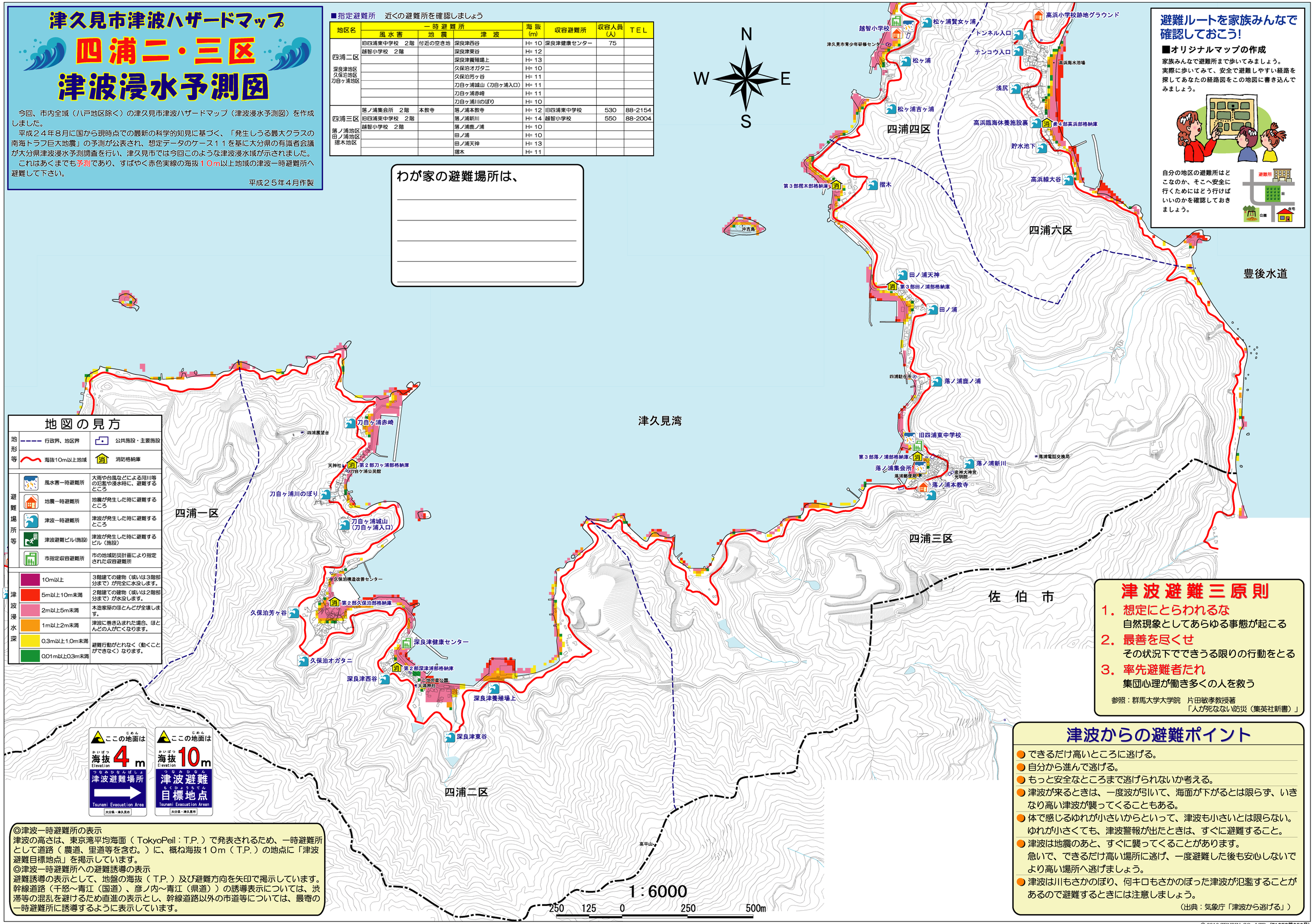
_____

_____

_____

_____

_____



避難ルートを家族みんなで確認しておこう!

■オリジナルマップの作成

家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探してあなたの経路図をこの地図に書き込んでみましょう。

自分の地区の避難所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

地図の見方

地形等	行政界、地区界	公共施設・主要施設	
	海抜10m以上地域	消防格納庫	
避難場所等	風水害一時避難所	大雨や台風などによる河川等の氾濫や浸水時に、避難するところ	
	地震一時避難所	地震が発生した時に避難するところ	
	津波一時避難所	津波が発生した時に避難するところ	
	津波避難ビル(施設)	津波が発生した時に避難するビル（施設）	
	市指定収容避難所	市の地域防災計画により指定された収容避難所	
津波浸水深	10m以上	３階建ての建物（或いは３階部分まで）が完全に水没します。	
	5m以上10m未満	２階建ての建物（或いは２階部分まで）が水没します。	
	2m以上5m未満	木造家屋のほとんどが全壊します。	
	1m以上2m未満	津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなります。	
	0.3m以上1.0m未満	避難行動がとれなく（動くことができなく）なります。	
	0.01m以上0.3m未満		

◎津波一時避難所の表示
津波の高さは、東京湾平均海面（ TokyoPeil：T.P. ）で発表されるため、一時避難所として道路（ 農道、里道等を含む。）に、概ね海抜１０ｍ（ T.P. ）の地点に「津波避難目標地点」を掲示しています。
◎津波一時避難所への避難誘導の表示
避難誘導の表示として、地盤の海抜（ T.P. ）及び避難方向を矢印で掲示しています。幹線道路（千怒～青江（国道）、彦ノ内～青江（県道））の誘導表示については、渋滞等の混乱を避けるため直進の表示とし、幹線道路以外の市道等については、最寄の一時避難所に誘導するように表示しています。

津波避難三原則

1．想定にとらわれるな
自然現象としてあらゆる事態が起こる

2．最善を尽くせ
その状況下でできうる限りの行動をとる

3．率先避難者たれ
集団心理が働き多くの人を救う

参照：群馬大学大学院　片田敏孝教授著
「人が死なない防災（集英社新書）」

津波からの避難ポイント

- できるだけ高いところに逃げる。
- 自分から進んで逃げる。
- もっと安全なところまで逃げられないか考える。
- 津波が来るときは、一度波が引いて、海面が下がるとは限らず、いきなり高い津波が襲ってくることもある。
- 体で感じるゆれが小さいからといって、津波も小さいとは限らない。ゆれが小さくても、津波警報が出たときは、すぐに避難すること。
- 津波は地震のあと、すぐに襲ってくることがあります。急いで、できるだけ高い場所に逃げ、一度避難した後も安心しないでより高い場所へ逃げましょう。
- 津波は川もさかのぼり、何キロもさかのぼった津波が氾濫することがあるので避難するときには注意しましょう。

（出典：気象庁「津波から逃げる」）

© 2010 ZENRIN CO., LTD. (Z13FG第052号)